

かんぽ生命の健康経営 取組紹介

日本郵政グループでは、『日本郵政グループ健康宣言』を制定し、健康経営に取り組んでいます。そこで弊社(株式会社かんぽ生命保険)の健康経営の取り組み事例の一部と健康経営に関する各指標の実績値を紹介します。

2023年度以降の重点取組

1. 禁煙推進

2023年5月、グループ4社社長による「日本郵政グループ禁煙宣言」を定め、禁煙推進施策を強化することとしました。これを受け、かんぽ生命では、2023年10月より大手町本社社屋の社内喫煙所を廃止するとともに、ニコチンパッチ等を活用した「卒煙プログラム」(運営主体:日本郵政共済組合)の提供や保健師による禁煙相談の実施など、禁煙にチャレンジする社員のサポートに取り組んでいます。

2. メンタルヘルスケア

- ・ラインケア研修(管理者)
- ・セルフケア研修(全社員)
- ・ストレスチェックの実施
- ・カウンセリング等、相談窓口
- ・復職に向けた支援プログラム

3. 運動習慣

- ・ラジオ体操(勤務時間内)
- ・すこやかんぽアプリを活用したウォーキングキャンペーン
(2023年度参加率12.7%、1日平均7,022歩)
- ・社内ボッチャ大会

4. 各種健康セミナー(外部講師)

- ・快眠セミナー
- ・男性特有の健康課題
- ・女性の健康セミナー
(グループ全体で113名参加)
- ・ドリンクスマートセミナー

健康経営の各種指標の実績値

社員の健康に関する指標	2023年度	2022年度
(1) 定期健康診断受診率	100%	100%
(2) 要医療1・2の社員割合(*) *要医療1・2: 医療上の措置を緊急または早急に必要とする者	0.94%	0.78%
(3) 特定保健指導実施率	74.5%	79.3%
(4) 特定保健指導脱出率(*) *前年度の特定保健指導(メタボ指導)対象者のうち、翌年度同対象者にならなかった者の割合	23.0%	24.0%
(5) 肥満(BMI25以上)率	32.4%	—
(6) ストレスチェック受検率(高ストレス者の割合)	94.2%(15.2%)	94.0(14.3%)
(7) 喫煙率	26.7%	27.0%
(8) 運動習慣率(30分以上の運動習慣がある者)	25.2%	25.2%

業務パフォーマンス・健康経営推進に関する指標	2023年度	2022年度
(1) アブゼンティーズム(*) *社員一人当たりの年間傷病休暇・休職日数	6.0日	—
(2) プレゼンティーズム(*) *何らかの健康不調により90%以上の業務パフォーマンスが出せない社員割合	11.1%	—
(3) ワーク・エンゲージメント(エンゲージメントスコア調査) *全11段階中、Cは上位から9段階目、CCIは上位から8段階目	CC	C